

植物多様性センターの「うろこのあるツツジ?」

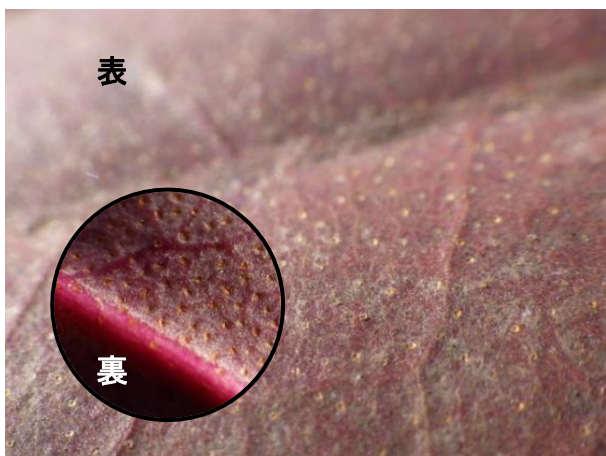
ヒカゲツツジは、奥多摩などの急峻な岩壁などに自生するツツジ科の常緑低木です。この時期、花芽の入った鱗芽を観察すると、茶褐色の丸い小さな鱗のようなもの（鱗状毛）が目につきます。このように植物体に丸い鱗状毛をもち、新葉が芽の中で内巻きになるグループが、ツツジ属の中でヒカゲツツジ亜属として分類されています。学習園では4月初め頃が開花期となります。



2月：常緑の葉の中央に花芽の入った鱗芽がふくらむ



花芽：芽鱗の中央付近に丸い茶褐色の鱗状毛が密生する



葉の鱗状毛：葉の表面にも裏面にも丸い鱗状毛が分布する



4月：前年葉の中心から淡黄色の花を数輪咲かせる